

# 平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

## 1 事業の成果

平成29年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(73大学74校)の学生を対象とした第8回薬学共用試験(CBTは体験受験及び本試験と追・再試験、OSCEは本試験と追・再試験)を実施した。いずれも大過なく実施することができた。平成30年度の試験から改訂モデルコアカリキュラムに準拠した実施となるため、CBTに関しては問題管理システムを改修し、これまでに蓄積したCBT出題問題の移行管理を行った。一方OSCEに関しては、改訂モデルコアカリキュラムに準じて新たに作成された新規課題案についてトライアルを実施した。また昨年度に引き続き、事業継続準備として、CBT体験受験の実施中、近畿大学に一時的に設置する副事務局において、センターサーバから代理サーバへのシステムの切替や試験管理業務の引継ぎ等の実施訓練を行った。この他、法人設立10周年を記念し全国薬科大学長・薬学部長や共用試験関係者を対象とした講演会を開催した。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	27年度の実施状況の共有や28年度に向けた変更点や留意事項の説明のため、平成28年度OSCE実施説明会を開催した。	平成28年4月24日	慶応義塾大学薬学部	15人	全国薬系大学の教員(約100名)	428千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第7回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT実施およびモニター説明会を開催した。問題作成説明会も引続き開催した。	平成28年6月11日	慶応義塾大学薬学部	4人	全国薬系大学の教員(約150名)	26千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第8回共用試験CBT本試験に先立ち、受験生の練習や体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成28年7月26日～9月16日	73薬系大学74校	101人	全国薬系大学の教員(約230名)及び薬学生(11,024名)	1,815千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEモニター説明会を開催しモニター業務について再確認した。	平成28年8月29日	京都薬科大学	16人	全国薬系大学の教員(約75名)	525千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	改訂モデルコアカリキュラムに対応して作成された課題案について、課題としての妥当性や問題点などを検証する目的で、OSCEトライアル(新規課題案)を実施した。	平成28年7月26日～平成29年3月16日	60薬系大学61校	21人	全国薬系大学の教員(約150名)及び薬学生(1,163名)	7,336千円

講演会等の開催による薬学教育に関する普及啓発事業	法人設立10周年を記念し、全国薬科大学長・薬学部長や共用試験関係者を対象とし、10年間の歩みや薬学共用試験の現状と展望、実務実習受入れ先の病院・薬局の立場から見た共用試験、医学部歯学部の共用試験の様子に関する講演会を開催した。情報交換会も開催した。	平成28年9月22日	慶応義塾大学薬学部	10人	全国薬系大学の学長や薬学部長、及び共用試験担当の教員(162人)	1,786千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第8回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験:平成28年12月1日～平成29年1月31日、 追・再試験:平成29年2月21日～3月14日	73薬系大学74校	291人	全国薬系大学の教員(約750名)及び薬学生(11,084名)	7,305千円